

会員だより

ベトナム旅行

6月13日～16日ベトナムのホーチミンに男9人で管理者の旅行に出かけました。

台湾での乗り換え便のため、到着には、ほぼ1日を要し長旅で少々疲れ気味でした。

到着と同時にまず驚かされたのは、オートバイの多さでした。圧巻です。今まで見たことのない光景でした。2車線あれば1車線は全てオートバイの通行帯で、信号での停止は前列すべてオートバイでオートバイの間を車が走るといった感じでした。

隙間を縫うように縦横無尽に走行し、その間をひとが横断するという光景に、あきれながらも変に見とれてしまいました。今にも事故が起きそうでハラハラしましたが、意外にも事故は少ないとのことでした。

1960年～1975年までのベトナム戦争は記憶に新しいところかと思えます。クチトンネルの見学では、地下に200kmにも及ぶトンネルがあり、その通路は多くの階層に分かれていました。そこには会議室や倉庫から生活のための台所まで造られており、ベトナム人の強固な意志、知恵、誇りを感じさせられました。

小国ベトナムがアメリカに勝利した理由が何となく理解できたような気がしました。

又、戦争証跡博物館では、ベトナム戦争の恐ろしさ、枯れ葉剤の恐怖を目の当たりにし、戦争が終わり40年が経過したわけですが、今だに苦しむ人の姿をみて平和への願いを再確認しました。

ホーチミンは想像していた以上に、都会で、活気があり、若者が多くこれからの発展が楽しみな国ではないかと感じました。何年後かに又、是非、ベトナムを訪れてみたいと思います。



クチトンネル



黒い帽子をかぶっているのが筆者です。

朝日土木(株)
佐田 貴志